

あついこころを道政に!



北海道150年記念式典の成功に尽力! 特別功労賞受賞者の皆さまに敬意と感謝



▲北海道の名付け親である松浦武四郎の特別展にて

8月5日、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、「北海道150年記念式典」が北海きたえーるで盛大に開催されました。大越道議は「苦しい時代の積み重ねの歴史を未来へつなげ、北海道の発展に努めます」と新たな決意を語りました。

10月11日には、北海道150年事業の一つとして大越道議の質問により実現した「特別功労賞贈呈式」が行われ、札幌ラーメンをブランドとして確立させた西山富義さんら5人が受賞されました。「自分の質問が形になるのは本当に感慨深い。受賞者の皆さまに心から敬意と感謝を申し上げます」と話しました。



▲きたえーるでの式典に参加



▲150年特別功労賞祝賀会で、受賞者である西山ラーメンの西山富義さんと

望月寒川放水路トンネル 早期完成へ迅速に対応

豊平区や南区などを流れる望月寒川で近年、浸水被害が相次いでいることを受け、地下放水路トンネルの掘削工事が進められています。その工事中に掘削機が故障したため、大越道議が現場の状況を調査し、近隣の皆さまが安心・安全に過ごせるよう一日も早い完成に向け、万全の対応を行う考えを示しました。



未来チャレンジ基金で 若者の夢を全力で応援

海外留学を希望する若者を支援するために道が創設した「ほっかいどう未来チャレンジ基金」第2期生の壮行会が、7月19日に開かれました。対象分野はスポーツや芸術文化、食、建築など多岐にわたっており、会に出席した大越道議は「夢に向かって頑張る若者を全力で応援していきます」と語りました。



「どさんこ愛食 食べきり運動」 食品ロス対策キャンペーン開催中!

食べ残しなどの「食品ロス」を削減する「どさんこ愛食食べきり運動」の取り組みが広がりをを見せています。これは大越道議の質問から始まったもので、忘新年会など宴会での食べ残しが多いことから、ポスター等の掲示や食べきりタイムの設定、食イベントでのPR活動、余りがちな食材を使った料理教室など、さまざまな取り組みが各地で進められています。



地域活動にも全力投球!



防災カルタや避難所ゲーム「Doはぐ」を活用した学校現場での防災教育を推進



女性の会「あつにゃんクラブ」で地域の皆さまにあいさつ



美園夏まつり会場で豊平区のマスコット「こりんちゃん」と